

山行報告書

報告書作成

2006年5月5日

山名 [山域]	ドンデン山[アオネバ渓谷]佐渡ヶ島	目的と方法	お花の観賞
登山期間	2006年4月29日(土)～5月1日(月)	山行形態	前日発 日帰り
参加人数	5名		

行動記録 4/29(土) 旧岡崎市民病院PKG(14:00)==岡崎IC(14:05)==駒ヶ岳SA(15:40,15:55)==妙高SA(17:45,17:55)==上越IC(18:15)==直江津港(18:30)==ファミレス「夕食」==町の小公園TS1(20:00) [高速料金 8,100円]

4/30(日) TS1(5:30)==直江津港(5:45,7:00)～カーフェリー～小木港(9:30)==小木民俗博物館(10:00,11:00)==トキの森公園(11:50,12:15)==トキの里道の駅(12:30,13:30)==アオネバ登山口(14:10,14:20)--アオネバ峠(15:50)--ドンデン山荘(16:20)TS2 [カーフェリー往復 車5m未満 28,260円運転手1名含む] 同乗者 片道2等 2,060円/人

5/1(月)【観光】ドンデン山荘TS2(6:30)==白雲荘(7:30,7:40)==佐渡金山(8:15,9:15)==佐渡版画村(9:30,10:10)==姫津大橋(9:30,10:10)==トキの里道の駅「昼食」==両津港(15:10)～カーフェリー～新潟港(17:40)==新潟西IC(18:10)==米山SA(19:00,19:25)==野尻湖PA(20:30,20:40)==梓川SA(21:40,21:50)==恵那峡SA(23:30,23:40)==岡崎IC(24:25)==旧岡崎市民病院PKG(24:30) [高速料金 新潟西～岡崎 7,150円 深夜割引]

概念図



日誌

4/29(土) 曇り 14時に 旧岡崎市民病院P集合、出発で岡崎ICから高速に入る。(運転者への負担軽減の為のリーダーの配慮、香嵐渓付近の渋滞回避)長いアプローチだが昼間で、ドライブしながら山々の景色、町並みの景色などを楽しむ事が出来た。お陰で交通渋滞も無く予定よりも早く直江津港に着いた。カーフェリー乗船場所など確認してから 近くのファミレスで夕食をとる。それから テント設営場所を探る為、車で少し走り廻る。直江津港から5km位離れた所の町の小公園にテント設営に決めた。近所迷惑をかけない為 今夜の宴会は自粛し20時過ぎ就寝した。

4/30(日) 曇り後雨 5時起床 朝食をすませ直江津港に行きカーフェリー乗船待ちレーン の一番前にテントが張ってありました。あまり混み合っていない駐車の邪魔にならなければ良いのか?と思った。7時にカーフェリー乗船し2時間30分で佐渡小木港に着く。まず小木民俗博物館に行き千石船「白山丸」安政五年(1858年)建造された船の復元(実物大)を見学した。それから トキの森公園に行きケージの中に入ったトキをガイドの説明を受けながら見学する。

「トキの里道の駅」で昼食を済ませて、アオネバ渓谷登山口に向かうが車道の脇では「イチリンソウ、ニリンソウ群生」の花が咲き誇っていた。アオネバ渓谷登山口からすぐに花を見る事ができ長旅の疲れを忘れさせてくれる。[ヒトリシズカ、キクザキイチゲ、ナガハシスミレ、カタクリ、フクジュソウ、シラネアオイ]こちらの花、茎とも全体的に大きいです。

このまま、アオネバ峠を経てドンデン山荘まで4名で行くという事で私(F)は登山口まで戻り車をドンデン山荘まで走らせ駐車場まで16時20分に合流した。山荘の責任者にテント設営の許可を得てテント設営するも夜中に強風にあおられテントのフライが飛ばされる。フライ回収して車の中へ入れてフライ無しでテントに戻り、強風に耐えるも 0時20分我慢限界でテント撤収して山荘に避難する。山荘の玄関に4名、車に1名で朝まで強風を凌いだ。

5/1(月) 雨後曇り 5時起床 山荘の責任者に昨夜の強風の状況を説明して深夜に無断で玄関先に避難した事を理解して貰い500円/人払う。今日の天気予報は午前中は雨で又山も雪が有るという事で皆で相談して金北山～ドンデン山の縦走を断念する事にして、今日は観光する事にした。5/2発のカーフェリー チケットも本日15時10分発に変更して貰い佐渡ヶ島を出る。【感想】今回の山行 縦走は出来なかったが、その分観光が十分楽しめたしアオネバ渓谷の素晴らしい景観、沢山の花を観賞する事が出来て良かったです。金北山～ドンデン山縦走はまたの楽しみにとっておきます。また行きましょう。同行の皆さんお疲れ様でした。!